

国際交流員がモンゴルを紹介！

連載

ジャルガルの

ほのぼの日記

第49回 モンゴル日本外交
樹立50周年



皆さん、サエンバエノー？

花便りも伝わる今日この頃、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

昨年は静岡県とモンゴル国ドルノゴビ県との間で友好協定が結ばれて10周年。それを記念して、2021年を「静岡モンゴル年」とし、県民の皆さんにモンゴルをもっと身近に感じて頂けるようさまざまな体験イベントが行われました。伊豆の国市からもたくさんの方が参加したと聞いて、とても嬉しかったです。

今年、伊豆の国市がモンゴル国ウランバートル市ソングノハイルハン区と友好都市交流に関する覚書を交わしてから7年目になります。これまで、相互訪問や友好都市交流協会が主催してきた交流事業、モンゴル国柔道ナショナルチームが来市した際など、市民の皆さんと交流する

場も多くありました。

さらに、今年日本とモンゴルの外交関係樹立50周年という記念すべき年で、両国内でさまざまな記念事業・行事が開催されています。

3月17日～5月31日まで大阪府の国立民族学博物館で50周年記念特別展「邂逅する写真たちーモンゴルの100年前と今」が開催されており、モンゴルでは2月24日に「JAPAN FESTIVAL IN MONGOLIA」がオンラインで開催されました。これは、2018年まで「ジャパン・ポップカルチャー・フェスティバル」として開催されていた文化紹介イベントを拡大したもので、モンゴル最大級の日本関連イベントになっています。

私も毎年楽しみにしているこのフェスティバルでは、日本好きな

モンゴルの若者がコスプレや着物ファッションショーを行い、ほかに柔道、空手、剣道のデモンストラーションや日本のカルタ、書道体験会、ガチャガチャコーナーもあり、屋台もたくさん出ていました。今回のゲストは、チャカランド、ワサビーズ、エンゲーンなどモンゴルでも人気のアイドルやバンドが参加したほか、日本からのゲストもオンラインで登場しました。

また、在モンゴル日本大使館が、モンゴル子ども芸術センターとの共催で「子ども絵画コンテスト」を実施するなど、今後もさまざまな記念イベントが行われる予定です。

近年、コロナ禍のためこれまでどおりの事業実施は難しい状況ですが、皆さんのご協力のもと、今後も交流できる場を設けていきたいと思っております。皆さんも、モンゴルについて聞いたこと、気になること、現地の人に尋ねてみたいことなどがありましたら、お問い合わせください。それでは、バイタルタエ。

市長公室
055(948)1431

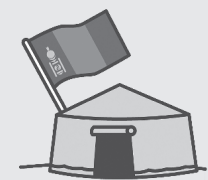


▲「JAPAN FESTIVAL IN MONGOLIA」でカルタを楽しむ様子

モンゴルクイズ

モンゴルの世界遺産は次のうちどれでしょうか？

- ①オルホン渓谷
- ②アルタイ山脈の岩絵群
- ③ウヴス・ヌール盆地
- ④イエローストーン国立公園



第29回

ごみの分け方・出し方

プラスチック製容器包装は「プラマーク」を目印に分別を

図 廃棄物対策課

0558(76)8001

●プラスチック製容器包装って？

食料品や日用品などを買ったときに使われているプラスチック製の入れ物（容器や包み（包装）のことです。発泡スチロールの箱や緩衝材もこちらに分類されます。

容器包装プラスチックには、基本的に商品の側面や裏側にプラマークが表示されているので、迷ったらこのマークを基準に分別をお願いします。

●ごみ出しの注意点

①洗って乾かしましょう

ごみに出すときは必ず中身を使い切り、汚れているものは残り水などを利用して洗って乾かしてからごみに出してください。洗う際は、同じ袋に入っている他の容器を汚さない程度まできれいな状態にしましょう。

②二重袋にしない

プラスチック製容器包装ごみを小分けにレジ袋などに入れた状態で、指定袋に入れて出されると、清掃センターでの作業が手間取ります。レジ袋などには入れずに、指定袋に入れてください。

③カップ麺・納豆の容器は要注意です

カップ麺と納豆の容器が、「紙の日」（発泡スチロールトレイ）に出されているのを見かけます。この2つはプラスチック製容器包装に分類されます。 ※「紙」のカップもありますので、ご注意ください。

今後ともごみの分別にご協力をお願いします。



▲プラマークの確認を！

市民の「チカラ」を紹介します！

～市民活動のススメ～【第6回】

協働まちづくり課
055-948-1412

はり・きゅうやつぼを使って 健康な体に NPO法人 はり灸マッサージ会

代表 鈴木暹 ☎0558-76-3738

活動の内容は？

はり・きゅう治療やマッサージ治療を知っていたため、地域のさまざまな場所で、はり・きゅう体験会やセルフつぼ講座などを行っています。コロナ禍のため、最近はオンラインで講座を行うこともあります。

セルフケアの方法を覚えてもらったところ「とても楽になった」と言っていただきました。つぼを押すセルフケアの道具は、銅やステンレス製品、ペットボトルなど身近な日用品を使うことができますので気軽に取り組むことができます。

読者へのメッセージ

介護施設やサロンなどで講座を行うこともできます。職場の福利厚生事業としてセルフケアの講座も実施します。はり・きゅうやつぼのマッサージ治療を通じて、自身で健康な体づくりをしてみませんか。



▲セルフケア講座の様子

はり・きゅうマッサージのメリットは？

はり・きゅうは、自身で健康に気を配り、セルフケアを続けることで、自己治癒力を高めて病気になりづらい体をつくることができます。「はり・きゅうは痛い」「おきゅうは熱い」などのイメージで敬遠されてしまいがちですが、体験や講座を通じて、ぜひ身近に感じていただきたいです。

記憶に残るエピソードは？

年齢による慢性的なひざ痛を諦めていた人に、